

競 技 規 則

改定年月日 2021年4月

葉山国際カンツリー倶楽部の競技に関する一切の事項は本規則によるものとする。

第1条 本規則の運営について、一切の事項は競技委員会（以下委員会と略称する）がこれを決定する。

第2条 スクラッチ競技を除くすべての競技は、ハンディキャップを附し、整数で行い小数点以下は切り捨てる。

第3条 競技に参加するプレーヤーは、当倶楽部ハンディキャップ取得者に限る。

第4条 競技の編成は、毎年4月1日より翌年3月末日までとし、委員会の審議を経て理事会が最終決定する。

第5条 各競技において、定刻内に参加者が16名に達しない場合は不成立とする。但し、グランドシニア選手権、女子倶楽部選手権、火曜杯、土曜杯は8名とする。

第6条 各競技に出場するための参加資格は、次の通り区分する。

- (1) 月例杯参加者資格のハンディキャップは16.9迄をAクラスとし、17.0～36.9迄をBクラスとする。但し、理事長杯を除くその他のアンダーハンディ競技は、ハンディキャップ37.0以上は、36.9として出場できる。
- (2) 倶楽部選手権及び社長杯参加者資格のハンディキャップは14.9迄とする。
- (3) 理事長杯参加者資格のハンディキャップは18.9迄とする。
- (4) グランドシニア選手権参加者資格は、ハンディキャップ28.9迄とし、競技当日満70歳以上のプレーヤーとする。
- (5) シニア選手権参加者資格は、ハンディキャップ28.9迄とし、競技当日満60歳以上のプレーヤーとする。
- (6) 女子倶楽部選手権参加者資格は、女性（出生時）でハンディキャップ20.9迄とする。
- (7) 六大競技に出場する場合、予選日の6か月前から倶楽部競技に2回以上（うち1回は月例競技に）参加することを条件とする。

第7条 ストロークプレー競技は、通常下記の条項の下にこれを行うものとする。

- (1) 規定によりハンディキャップ委員会より正式のハンディキャップを受けたプレーヤーに限る。
- (2) 競技参加を希望するプレーヤーは、予め定められた方法により委員会まで申し込まなければならない。
—申し込み方法—
六大競技及びスクランブル団体選手権、スクランブルペア選手権の申し込みは、競技日の14日前の12時迄に申し込みのこと。（電話申し込み可）
- (3) 六大競技参加者は、申し込みと同時に参加費を納入するものとする。この参加費

は不参加の場合でも払戻しはしない。なお、学生の参加は認めない。又、卒業年度も含む。

- (4) 競技の組合せ及びスターティングタイムは、委員会が決定し、各参加者に通知する。但し、月例杯・火曜杯・土曜杯・春分杯・勤労感謝の日杯・新年杯は、当日組合せする場合もある。
- (5) スタート時間に遅れたプレーヤーは、5分以内の遅れであれば2打罰（マッチプレーでは最初のホールの負け）、それ以上の遅れは競技失格とする。
- (6) 月例杯参加者の無断欠席者の罰則として、1回目は次月の倶楽部競技の出場停止、競技改定日より1年間で2回目については次月から3ヵ月間の倶楽部競技の出場停止とする。
- (7) 競技の組合せは、2人以上4人をもって組合せ、場合によってマーカーを附す。
- (8) 六大競技及びスクランブル団体選手権、スクランブルペア選手権の予選通過者は競技参加者の4割を目処として、組み合わせ作成日に委員会で決定する。
- (9) 六大競技の規定は、別途配布される競技規則に拠る。

第8条 スコアカード提出の際、アテストは同伴競技者（又はマーカー）とする。

第9条 競技参加者は、規定ホールを終了後、直ちに同伴競技者によって正しくアテストされ、かつ自署した上、スコアカードボックスに投入しなければならない。それに反した場合は失格とする。

第10条 六大競技及びスクランブル団体選手権、スクランブルペア選手権を除く競技の順位決定において、タイスコアとなった場合、ハンディキャップの少ない者を上位とし、同位の場合は年齢順とする。

第11条 試合使用クラブはR&Aが定める最新『適合ドライバーヘッドリスト』の条件を適用する。

第12条 試合使用球はR&Aが定める最新『公認球リスト』の条件を適用する。

第13条 各競技において競技委員が不在の場合は、マスター室が代行する。

第14条 委員会は必要に応じて、臨時ローカルルールを規定する。詳細はその都度クラブハウス内に掲示し、その日から効力を発生する。

第15条 各競技について悪天候のため、実施上支障があると認めた時は、委員会において、ラウンドの変更あるいは、打切中止する場合がある。

第16条 競技に参加し正当の理由なくしてNRした場合は、次回の競技に於いて入賞資格を失う。（委員会が認めた場合を除く）

第17条 本規則について疑義が生じた時は、委員会の裁定を求めなければならない。この場合、委員会の裁定は最終である。

第18条 本規則及びローカルルールの規定にない事項は総てJGA競技規則に拠る。

※六大競技とは、倶楽部選手権・理事長杯・社長杯・女子倶楽部選手権・シニア選手権・グランドシニア選手権とする。

◆倶楽部競技における距離計測器の使用について◆

平成 30 年 4 月 1 日より、すべての倶楽部競技において、プレーヤーは距離のみ計測する機器を使用することができます。

- ①距離計測器が他の条件（例えば、傾斜、風速、気温、グリーン方向を示す）を計測できる機能を備えている場合、その機能を OFF（使用できない状態）にして使用すること。
- ②機能を OFF にしていたが偶然、または意図に反して他の条件（標高変化、風速など）を計測してしまった場合、すみやかに OFF（使用できない状態）にすること。なお、この場合、罰則は無いものとする。
- ③距離計測機器を州用するために、プレーを不当に遅延させてはならない。

葉山国際カンツリー倶楽部
コンペティションルール委員会

ローカルルール ダイヤモンド

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する（白杭で結ばれている保護金網は、その金網の外側をOBとみなす）。
- ② 修理地は青杭を立て白線をもってその限界を標示し、プレー禁止区域とする。
- ③ 球が目的ホールの白杭を結ぶ線を越え隣接ホールに入った場合は、アウトオブバウンズとする。
- ④ No 6ホールにおいて、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線をその限界とする。
- ⑤ レッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った場合、追加の救済の選択肢として、そのペナルティーエリアの反対側にドロップすることができる。
- ⑥ コース内の管理道路、排水溝、散水栓、樹木の支柱、目土箱、その他の構築物は動かさない障害物とする。
- ⑦ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道および軌道間はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、ゴルフ規則16.1a、ゴルフ規則16.1bを適用しなければならない。但し、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることができる。
- ⑧ No 1、No 4、No 7、No 9、No 11、No 13、No 14、No 15ホールにおいてティーショットがアウトオブバウンズもしくはロストボールになった場合、前方特設ティより第4打として打つこととする（五大競技を除く倶楽部競技は、前方特設ティを使用する）。
- ⑨ No 6、No 7、No 8、No 11、No 12、No 13、No 15、No 16ホールにおいて球が黄縞杭を結ぶ線を越えた場合、罰打1打を加えて球が止まった地点から境界線内のラフ（フェアウェイを跨がない）でホールに近づかない後方にドロップする（五大競技には適用しない）。
- ⑩ 五大競技では、前方特設ティは使用できない。
- ⑪ 倶楽部競技を除いて、ジェネラルエリア6インチプレースすることができる。
- ⑫ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑬ ホールとホールの間での練習ストロークを禁止する。
- ⑭ 球がピンとスプリングラーヘッドおよびグリーン前後のポイント杭を結ぶプレー線上で、スプリングラーヘッドおよびポイント杭から2クラブレングス以内に止まっている場合に限り、ホールに近づかず基点（ニアレストポイント）より1クラブレングス以内にドロップすることができる。但し、スプリングラーヘッドおよびポイント杭がグリーンより2クラブレングス以内にあるときに限る。
- ⑮ 上記各号以外のローカルルールについては、随時クラブハウス内に掲示する。上記以外は、JGAゴルフ規則による。
- ⑯ ローカルルールの違反については、2打罰とする。

ローカルルール エメラルド

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する（白杭で結ばれている保護金網は、その金網の外側をOBとみなす）。
- ② 修理地は青杭を立て白線をもってその限界を標示し、プレー禁止区域とする。
- ③ 球が目的ホールの白杭を結ぶ線を越え隣接ホールに入った場合は、アウトオブバウンズとする。
- ④ No 17ホールにおいて、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線をその限界とする。
- ⑤ レッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った場合、追加の救済の選択肢として、そのペナルティーエリアの反対側にドロップすることができる。
- ⑥ コース内の管理道路、排水溝、散水栓、樹木の支柱、目土箱、その他の構築物は動かさない障害物とする。
- ⑦ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道および軌道間はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、ゴルフ規則16.1a、ゴルフ規則16.1bを適用しなければならない。但し、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることができる。
- ⑧ No 11、No 15、No 16ホール以外においてティーショットがアウトオブバウンズもしくはロストボールになった場合、前方特設ティより第4打として打つこととする（五大競技を除く倶楽部競技は、前方特設ティを使用する）。
- ⑨ 五大競技では、前方特設ティは使用できない。
- ⑩ 倶楽部競技を除いて、ジェネラルエリア6インチプレースすることができる。
- ⑪ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑫ ホールとホールの間での練習ストロークを禁止する。
- ⑬ 球がピンとスプリンクラーヘッドおよびグリーン前後のポイント杭を結ぶプレー線上で、スプリンクラーヘッドおよびポイント杭から2クラブレングス以内に止まっている場合に限り、ホールに近づかず基点（ニアレストポイント）より1クラブレングス以内にドロップすることができる。但し、スプリンクラーヘッドおよびポイント杭がグリーンより2クラブレングス以内にあるときに限る。
- ⑭ 上記各号以外のローカルルールについては、随時クラブハウス内に掲示する。上記以外は、JGAゴルフ規則による。
- ⑮ ローカルルールの違反については、2打罰とする。

令和3年度

スクランブルペア選手権

葉山国際カンツリー倶楽部

競技委員会

大会概要

1、開催日 令和4年3月27日（日）

2、使用コース エメラルドコース OUT、IN 各コース 7時30分スタート～（セルフプレー）

3、競技方法 18ホールストロークプレー・スクラッチ競技。スクランブル方式によるダブルス戦。

4、参加人数

チームは2名で構成し、20組を上限とする。申し込みチームが8組に達しない場合は、競技不成立とする。

チーム内の1人が全ホールプレーできない場合について、ペア2人がいずれかの9ホールを消化していれば、残りの1人のスコアを採用することで正式記録とする。9ホールを消化していない場合、そのチームのスコアは参考記録となる。また、ペア2人のどちらかが競技失格の罰を受けた場合、そのチームは競技失格となる。

5、参加資格とその制限

当倶楽部の正会員、平日会員で、当倶楽部のハンディキャップ取得者に限る。なお、学生の参加は認めない（卒業年度も含む）。

1チームにおけるプレーヤー合計のハンディキャップは18以上とする。（ハンディキャップは令和4年2月1日時点）

6、メンバー変更

令和4年3月26日（土）12時迄認められる。

7、使用ティーマーカー

男性プレーヤーは競技特別ティー、女性プレーヤーはレディスティーを使用する。※競技当日満60歳以上のプレーヤーはレギュラーティー、競技当日満70歳以上のプレーヤーはゴールドティーの使用を認める。但し、プレーの途中で使用ティーマーカーを変更することはできない。

8、スコアカード

専用スコアカードを使用し、マーカーとして相手チームのプレーヤーの署名を必要とする（スコアカード記入例参照）。ラウンド終了後、すみやかにアテスト会場（マスター室前）でスコアを記入し、マスター室に提出しなければならない。

9、競技参加費

1,650円（税込）／1人あたり

10、申込受付開始

令和4年2月27日（日）から

11、申込受付締め切り

令和4年3月13日（日）12時迄

12、競技規則

当倶楽部専用規則『競技の条件』並びに『ローカルルール』（下記参照）を適用する。競技がスムーズに進行できるように必ず事前にお読みください。

13、表彰式

表彰式は開催いたしません。第1位から第3位まで、賞品として倶楽部商品券を贈呈いたします。

競技方法

1、スクランブル方式

ペア 2 人がティショットを打つ。セカンドショット以降は、そのなかからチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から 2 人が打つ。それをカップインまで繰り返していく。

2、ティショットの回数制限

ティショットは、スタートホールにおいてはドロワー表の順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば任意の打順でプレーすることができる。18 ホールのうち、1 人最低 7 ホールを選択しなければならない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできなかった場合は、1 ホールにつき 2 打罰を付加する。パートナーが途中出場、または出場していたパートナーが途中棄権した場合、そのパートナーが最低 7 ホールのティショットを選択する条件をクリアしていれば罰打は課されない。途中出場するプレーヤーは、ホールとホールの間でプレーに加わることができるが、1 ホールのプレー中の間は加わってはならない。1 ホールのプレー中に加わった場合、2 打罰を付加する。

注) 第 1 打において 2 人が「OB」の場合は、まず、誰のボールを選択するかを確認したうえで、前方特設ティーから第 4 打目を打つ。

3、ティショット～グリーン

ティショットはペア 2 人が打つ（性別、年代によって使用ティーが異なる）。セカンドショット以降は、ペアのなかでベストポジションと思われるボールを選択し、その地点にティーペグ（またはマーク）を置く（ティーペグやマークは最後のプレーヤーがボールをプレースするまで取り除いてはならない）。そのティーペグ（またはマーク）を中心にカップに近づかない半径 30 cm の半円内に自分のボールをプレース（良いライに置いたり、ボールを拭くことができる）して、ペア 2 人が打つ。打順は自由で、ペア内で決められる。それをグリーンオンまで繰り返す。

注 1) 選択されなかったボールは、すみやかにピックアップする

注 2) ラフにあるボールを選択したら、ラフにプレースする。ラフとフェアウェイの境のラフ側のボールを選択した場合には、半円内にフェアウェイがかかってもラフにプレースしなければならない

注 3) バンカーにあるボールはバンカー内にプレースする。ショットごとに砂を均すことができる

先のプレーヤーのショットがカップイン（この時点でスコアは確定）した場合、もう 1 人のプレーヤーはショットすることができない。このショットは練習ストロークとみなされ、2 打罰を付加する。

4、グリーンオン～カップイン

グリーン上では、選んだボールにマークする（マークは最後のプレーヤーがボールをプレースするまで取り除いてはならない）。そしてカップへ近づかない半径 15 cm（6 インチ）の範囲内にプレースをし、順番にパッティングする。打順は自由で、ペア内で決められる。外した時はホールに近い場合、「お先に」のパットも認める（この場合、スコアは仮確定）。

先のプレーヤーのパットがカップイン（この時点でスコアは確定）した場合、もう 1 人のプレーヤーはパットすることができない。このパットは練習ストロークとみなされ、2 打罰を付加する。

競技の条件

1、ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2、競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3、使用球の規格

R & Aが発行する最新の『公認球リストの条件』を適用する。

4、使用クラブの規格

R & Aが発行する最新の『適合ドライバーヘッドリストの条件』を適用する。

5、スタート時間

『ゴルフ規則 5.3a』を適用する。

6、競技終了時点

本競技は、競技委員会の成績発表（館内掲示）がなされた時点をもって終了したものとみなす。

7、ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則 5.5b』を『ローカルルールひな型 I-2』に修正し、適用する。

8、プレーのペースについて（ゴルフ規則 5.6b (3)）

各ホールプレーに許される時間の限度をスタート時に競技委員長（マスター室）から説明があります。これに遅れないこと。特別な事情もないのにこの時間より遅れた場合（アウトオブポジション）、ストロークに要する許容時間を個別に計測する。

※アウトオブポジションに該当しなくても遅れが生じると委員会が判断した組に対してはペースの回復を求めることがある。

※特定の競技者のペースが著しく遅い場合はその組がアウトオブポジションに該当しなくても、その競技者に通知した上でショットに要する時間を計測し、罰則を適用することがある。

(1) アウトオブポジションの定義

次の両方に該当したとき、その組はアウトオブポジションとなる。

(a) あるホールのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際の所要時間の合計が、「タイムパー」に記載された時間を越えた場合。

(b) 第2組以降の組では、前の組との間隔が1ホール以上（パー4のホールを基準）あいた場合。

(2) アウトオブポジションとなった組に対する処置

あるホールを終えてある組が特別な事情もないのにアウトオブポジションとなった場合、委員会（マスター室）はホールとホールの間でその組全員に、アウトオブポジションとなったことおよび次のホールから各競技者のすべてのストロークに要する時間を計測することを通知する。委員会がその組の各プレーヤーのストロークに要する時間を計測し、(3)の許容時間を越えた場合、競技者に(4)の罰則が適用される。

例外：特別な事情（ルーリングや紛失球等）があったと委員会が判断した場合、委員会はその組に対して前の組との間隔を縮めるように求める。その結果、合理的な時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のストロークに要する時間は計測しない。

(3) ストロークに要する許容時間

原則：40秒

例外：パー3ホールにおいて最初にプレーする競技者、パー4とパー5のホールにおいて第2打地点から最初にプレーする競技者、パッティンググリーン周辺やパッティンググリーンの上で最初にプレーする競技者のショットの許容時間は50秒とする。

注：ストロークに要する許容時間の計測は、その競技者のプレーの順番が回ってきた時に開始する。

(4) 罰則

バッドタイム 1 回目 競技者は委員会およびマスター室によって（許容時間をオーバーしていることを）警告され、さらにバッドタイム（許容時間をオーバーしていること）となった場合には罰を課せられることを告げられる。

バッドタイム 2 回目 1 打の罰

バッドタイム 3 回目 更に 2 打の罰

バッドタイム 4 回目 競技失格

注：アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンド中の回数は持ち越す。

9、プレーの中断と再開

(1) プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断になった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 5.7b 例外に決められているような、罰を免除する正当な事情なければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則 5.7b の違反の罰）

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：カートから音声の繰り返しと競技委員を通じて通報する。

険悪な気象状況による即時中断：カートから音声の繰り返しと競技委員を通じて通報する。

プレーの再開：カートから音声で告知し競技委員を通じて通報する。

10、競技の短縮

委員会は、コース状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技の条件に定めてあるホール数を短縮することができる。

11、同成績の場合による順位決定方法

タイスコアとなった場合、アウトコース、インコースのスタートを問わずマッチング・スコアカード方式（※）で順位を決定する。

（※）①10 番から 18 番ホールの合計スコア、②13 番から 18 番ホールの合計スコア、③16 番から 18 番ホールの合計スコア、④18 番ホールのスコア、⑤4 番から 9 番ホールの合計スコア、⑥7 番から 9 番ホールの合計スコア、⑦9 番ホールのスコアの順で決定する。

12、ヤーデージブックのサイズ

横 4 ¼ インチ (10.8cm) × 縦 7 インチ (17.8cm) を超えてはならない。

ローカルルール

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する（白杭で結ばれている保護金網は、その金網の外側をO Bとみなす）。
- ② 修理地は青杭を立て白線をもってその限界を標示し、プレー禁止区域とする。
- ③ 球が目的ホールの白杭を結ぶ線を越え隣接ホールに入った場合は、アウトオブバウンズとする。
- ④ エメラルドコースNo17ホールにおいて、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線をその限界とする。
- ⑤ レッドペナルティーエリアの縁を最後に横切った場合、追加の救済の選択肢として、そのペナルティーエリアの反対側にドロップすることができる。
- ⑥ コース内の管理道路、排水溝、バンカー内の排水枡、散水栓、樹木の支柱、目土箱、その他の構築物は動かさない障害物とする。
- ⑦ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道および軌道間はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、ゴルフ規則16.1a、ゴルフ規則16.1bを適用しなければならない。但し、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることができる。
- ⑧ ティショットがアウトオブバウンズもしくはロストボールになった場合、前方特設ティーより第4打として打つこととする。
- ⑨ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑩ 球がピンとスプリングラーヘッドおよびグリーン前後のポイント杭を結ぶプレー線上で、スプリングラーヘッドおよびポイント杭から2クラブレングス以内に止まっている場合に限り、ホールに近づかず基点（ニアレストポイント）より1クラブレングス以内にドロップすることができる。但し、スプリングラーヘッドおよびポイント杭がグリーンより2クラブレングス以内にあるときに限る。
- ⑪ グリーン上において、パットのライン延長線上でラインを確認することができる。
- ⑫ 上記各号以外のローカルルールについては、随時クラブハウス内に掲示する。上記以外は、JGAゴルフ規則による。
- ⑬ ローカルルールの違反については、2打罰とする。

注 意 事 項

- 1、競技の条件やローカルルールに追加、変更がある時は、クラブハウス内に掲示して告知する。
- 2、競技委員会は、競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加を取り消すことができる。
- 3、グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とする。
- 4、コース内に、補助ゴルフバッグの持ち込みを禁止する。キャディバッグに内蔵（一体化）されている補助ゴルフバッグについては、外してしまうとキャディバッグの機能が損なわれるため、例外として持ち込みを認めることとする（但し、使用は認めない）。
- 5、スタート時間5分前には、必ずティーイングエリア周辺に待機すること。